令和4年度　素形材産業技術賞

第一次書類審査用　応募用紙

１．開発技術名(40字以内)

|  |
| --- |
|  |

２．応募者(技術開発者)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 開発代表企業 | 技術開発代表者名 |  | ふりがな　　　　 |  |
| 企業名・事業所名 |  | 中小企業の場合：○印(前提：資本金：3億円以下、若しくは従業員：300人以下) |  |
| 所　在　地 | 〒 |
| 連絡者 | ふりがな氏　名 |  | 所属部署 |  |
| 電話番号 |  | e-mail |  |
| 共同開発機関名 | 1 |  | 3 |  |
| 2 |  | 4 |  |

※ 技術開発代表者は、企業に属する方であることが必須です。

※ 複数機関で応募する場合、開発代表企業以外は「共同開発機関名」欄にご記入ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 推薦者機関名部署・役職 |  | 推薦者名 |  |
| 所 在 地 | 〒 |
| 電話番号 |  | e-mail |  |

３．推薦者(他薦でのご応募の場合のみ、ご記入ください。)

４．素形材技術分野(主たる分野1つに◎、従たる分野に○を付けてください。)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 鋳造 |  | ダイカスト |  | 鍛造 |  | 金属プレス |  | 粉末冶金 |
|  | 型 |  | 熱処理・表面処理 |  | 鋳造機械 |  | 鍛圧機械 |  | 工業炉 |
|  | 素形材及びその製造に密接な関連がある加工技術(Additive Manufacturing、複合加工、レーザ応用等)、材料技術 |
|  | 素形材に関連したソフトウェア技術(IoTやAI等の活用も含む)等 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 高強度化 |  | 高精度化 |  | 高機能化 |  | 高品質化 |
|  | 難加工材加工 |  | プロセス革新性 |  | 自動化・省力化 (ロボットの活用含む)  |
|  |
|  | 生産性向上 |  | コスト低減 |  | 短納期化 |  | 異業種連携・新市場開拓 |
|  | 省資源・省エネルギー |  | リサイクル性向上 |  | 安全性向上 |  | 環境改善 |  | SDGsへの貢献 |
|  |
|  | 特許・実用新案(出願)あり |  | 当該技術の他の受賞歴あり |  | 当該技術の本奨励賞受賞歴あり |

５．候補技術のアピールポイント(該当項目に○を付けてください。複数可)

６．候補技術の概要

候補技術について、①～⑤までの各項目について簡潔に記述してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 開発技術の背景・目的
 | 背景や課題に対して、どのような目的で開発を行ったか、また開発時期についても記述してください。 |
|  |
| 1. 開発技術内容と技術上の特色
 | 開発した技術内容と成果を従来技術等と対比して、技術上の独創性、優秀性等について記述してください。 |
|  |
| 1. 実用化や普及の現状、或いは実用化の具体的な見通し
 | 操業実績や納入実績、または今後の実用化の見通しについて記述してください。 |
|  |
| 1. 経済性と環境配慮性など
 | 省資源、省エネ、省力化、コスト低減等による経済性や環境配慮性について記述してください。また想定されるSDGsへの貢献等があれば記述してください。 |
|  |
| 1. その他特筆事項
 | 特許、他の受賞、補助金等について記述してください。 |
|  |

※1 文字サイズは最小10ポイントを目安に作成、また表内の行間や領域は、適宜変更いただいて結構ですが、本項全体で1ページを超えないようにしてください。

※2 補足説明用の図、表、写真などの資料がありましたら、適宜添付してください。なお添付する資料は4枚以内(A4判、もしくはA3判)にまとめてください。また応募技術に類さない会社案内パンフレットは不要です。